

第10回「雑誌と生活情報～暮らしの手帖のつくりかた」

暮らしの手帖編集長

松浦弥太郎

【はじめに】 暮らしの手帖のはじまりと理念について。

読者層の移り変わり、現在の位置づけ、目指すもの。

1. 暮らしの手帖を作る上で必要な、「理念」「テーマ」「台割」の三つの構造。
2. 暮らしの手帖が伝えたいこと、「工夫と発案」。
3. プラン会議の進め方と方法。
4. 担当者決定から取材までの流れ。
5. 取材終了後の記事作りの流れ。
6. 事実確認と試作、記事の精査。
7. 割り付け作業のすすめかた。
8. 写真、テキスト、イラスト、余白の位置づけ。
9. 進行管理表の製作
10. 編集者の仕事と目指すもの。
11. 商品テストについて。
12. 暮らしの手帖が広告を取らないことの意味。

【まとめ】 暮らしの手帖または雑誌メディアにこれから求められるものは何か。

雑誌メディアの今後の課題。

以上